

# 1. 評価報告概要表

作成日 平成20年12月3日

## 【評価実施概要】

事業所番号	1173700236
法人名	株式会社 メデカジャパン
事業所名	行田ケアセンターそよ風
所在地	〒361-0076 埼玉県行田市天満8-29 (電話) 048-564-3701

評価機関名	社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 福祉サービス評価センター
所在地	〒330-8529 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ
訪問調査日	平成20年11月19日

## 【情報提供票より】(平成20年11月5日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成13年4月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	17 人
職員数	15 人	常勤 9人, 非常勤 6人, 常勤換算	13.1 人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋造り
	2階建ての2階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	35,000円+実費	
敷金	有( 100,000円 )			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 30,000円 )	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
または1日あたり 1,400円				

### (4) 利用者の概要(11月5日現在)

利用者人数	16 名	男性	5 名	女性	11 名
要介護1	3 名	要介護2	6 名		
要介護3	5 名	要介護4	1 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83 歳	最低	71 歳	最高	94 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	行田中央総合病院、行田協立診療所、大宮デンタルクリニック
---------	------------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

県内に多数のグループホームを展開している法人により運営されている当ホームは、平成13年に設立された。建物は近代的で明るく、1階にあるデイサービスセンター、居宅介護支援事業所、訪問介護事業所と併設しており、デイサービスセンターで実施される行事への参加や通院時のホームヘルパー利用など、事業所の多機能性が十分活かされている。ホームの前には広い公園やコミュニティセンター等があり、散歩や季節ごとの行事に参加できるなど、環境に恵まれている。また、職員も外部、法人内での研修に積極的に参加しており、介護サービスの向上に熱心に取り組んでいる。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価の結果については職員会議での報告のみにとどまっているため、職員間での話し合いや改善計画の作成はされていない。理念については昨年同様法人統一の理念が掲げられ、地域密着型サービスとしての事業所独自の理念はつくりあげられていない。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>ユニット長、計画作成担当が自己評価の作成にあたり、全職員による各項目についての話し合いや確認が十分されていない。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は昨年9月に1度、本年度も1度開催されている。家族、職員、地域包括支援センター職員、市役所職員、自治会長、民生委員と多方面から積極的な参加を得ているが、事業所からの報告にとどまり双方向的な会議にまでは至っていない。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>毎月の利用状況や「そよ風だより」を送付し報告している。また、意見箱を設置しているほか、来所時には職員から家族に声かけをすることで意見を引き出し、表出された家族の意見については事業所の運営に反映させる努力をしている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>保育園児や小学生の来所があったり、地域の行事にも参加している。地域住民からはホーム周辺の火災予防の夜回りをしてもらうなど、地域との交流が深まってきている。</p>

## 2. 評価報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人統一の基本理念、介護サービスの基本方針はあるが、地域密着型サービスとしての事業所独自の理念は作成されていない。		地域密着型サービスとして何が大切かを考え、ケアに即した事業所独自の理念を作成し、さらなる日々のケアの質の向上につなげていくことが期待される。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	法人独自のケアノートを携帯し、朝礼で目を通して確認している。また、介護サービス実施のプロセスとして「心によりそうケア」を職員間で話し合っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	保育園児や小学生が来所したり、ホーム側からも地域の行事に参加している。散歩時には地域の人とも世間話をする等関係を深めてきている。また、職員も自治会の集まりに出かけ交流することに努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価結果を会議で報告しているが、改善については職員間で具体的な話し合いまでは至っていない。自己評価作成については主に管理者、計画作成担当者により作成されている。		外部評価の目的、意義を再確認して、職員全員で自己評価を行い、前回の外部評価の結果の改善に計画的に取り組まれることを期待したい。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は昨年と今年度も1回ずつ開催されている。参加メンバーは、自治会長、民生委員、地域包括支援センター職員、市役所職員等であり、事業内容や年間行事等が報告されている。		会議ではホームからの報告にとどまらず、2か月に1回を目標とした定期的な開催により、参加者から積極的に意見や要望をもらい、サービスの向上に具体的に活かしていくことが期待される。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者が運営推進会議に参加しており、相談事は電話で連絡しやすい状況である。また、センター長がこまめに市役所を訪問し、事業所の実状を伝えて連携に努めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月の利用状況をそよ風だよりで報告している。金銭管理については明細と領収証を同封して郵送している。また、家族の来所時に利用者の日頃の様子を伝えている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ユニットの入り口に意見箱が設置されているが、あまり利用されていないため、家族の来所時には声掛けをし、意見を積極的に聴く努力をしている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動の際には、異動してきた職員が見慣れた顔になるまで利用者にとって馴染みの職員が対応し、職員の異動に伴う利用者の不安を最小限に抑えるように配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人が主催する研修には職員の能力や経験に応じた段階的な研修体制が確立されており、人材育成やケアの質の向上に努めている。また、外部研修にも積極的に参加を呼びかけている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業者との交流はまだ十分ではないが、参加している様々な研修を通して職員間で交流を持つことにより、サービスの質の向上に活かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>ホームの見学や2、3日の体験入居をしてみて利用者や家族と相談しながら入居につなげている。場合によっては家庭に訪問し、今までの生活面等を職員が感じ取り、心理的不安が生じないように配慮している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>日々の生活の中で利用者から教えられたり、励まされたりと、共に支えあうよい関係が構築されている。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者とのかかわりの中で希望や意向等を把握している。それぞれ職員が感じたことについて会議で報告し、カンファレンスを行って、一人ひとりの思いを把握するよう努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居前の家庭訪問時及び入居時のアセスメントや家族から聴き取った希望を職員間で話し合い、計画作成担当者が中心となって介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>6か月ごとに介護計画の見直しをしているほか、状態が変化した時は、本人や家族の希望を聴きながら、そのつどプラン変更を行っている。</p>		<p>介護計画の見直しは実践はしているが、日々の記録にまで至っていないため、次回の見直しに活かす上で記録しておくことが望まれる。家族の確認は面会時のみ行われているので、来所されない家族には郵送等工夫した取り組みが期待される。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	1階がデイサービスセンターになっていることを活用して一緒に行事へ参加したり、知り合いが通所した時は交流できるように支援している。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所前の主治医には家族対応で受診しており、家族が対応出来ない時はヘルパーを利用している。月2回は協力医が往診しており、時には家族が立ち会えるように支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	協力医による定期往診はあるが、それ以外は対応不可能であるため、基本的には重度化してきた場合やターミナル期の方については家族の理解を得た上で、特別養護老人ホームに申し込む方針である。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	トイレの誘導時はさりげない声掛けをする等、利用者のプライバシーを損ねないよう対応に配慮している。個人記録は事務所の鍵のかかるロッカーに保管され、職員にも個人情報の保護に努めるよう伝えている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事や入浴の時間等の大枠は決めてあるが、買い物やデイサービスへの参加等、その日の本人の希望にそった生活ができるように支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	朝食と日曜日はホームで職員と共に準備している。他は1階のデイサービスセンターと共に調理室で作られているが、メニューは2種類からの選択性であり、個人の希望に応じている。後片付けについては役割分担され、利用者が活き活きと行っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には毎日決まった時間に入浴しているが、状況や希望により臨機応変に対応している。入浴中の職員体制については他の利用者の生活に影響が出ないように検討中である。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	朝食の準備や後片付け、畑やベランダでの野菜づくり等、一人ひとりの意向や得意なことを大切にしている。また、散歩の機会を多く持ったり、デイサービスセンターに友達が来所した際には遊びに行く等、張り合いのある生活が送れるよう支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	誕生日には個別に職員と外食に出かけたり、散歩や買い物等利用者の希望にそった外出支援をしている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	2階にある居室には鍵はかけていないが、交通量が多いことから、玄関、2階入り口、ユニット入り口が施錠されている。		建物1階がデイサービスセンター、ホーム前の道は交通量が多く慎重にならなければいけない状況であるが、特にユニット入り口の施錠については利用者不安や閉塞感を与えるため、職員間で話し合い、工夫した取り組みの検討を期待したい。
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防火、避難訓練を定期的に行い、マニュアルも作成されている。また、前回の評価で改善を必要とした備蓄品も備えられている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士によりカロリー計算された、バランスの良い食事が提供されている。また、その日の体調や嘔下の状態に応じて食事形態を工夫しており、食事摂取状況、水分量も記録されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	明るく開放感があるリビングと廊下であり、ゆったり過ごせるソファが配置されている。玄関や居間には季節感のある作品が展示されており、居心地の良い空間づくりがなされている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前と同様の暮らしが継続できるよう使い慣れた家具や調度品が配置され、自室で本人が安心してリラックスできる配慮がなされている。		